

# この一打にかける

第24回B&G杯室内ゲートボール大会が3月5日、町民体育館で行われました。

先崎寿江さん(小野赤沼)が力強く選手宣誓し、競技が開始されました。試合は1試合30分で、各チームの選手5人が日ごろの練習の成果を発揮しました。

選手の皆さんは真剣な面持ちでボールに集中し、審判の「ゲート通過」の声に一喜一憂しながら、とても楽しそうにプレーしていました。

また、チームワークが勝敗を決するため、選手の応援にも熱が入っていました。大会成績は次のとおりです。

- ◆優勝 小野山神行政区
- ◆準優勝 吉野辺行政区A
- ◆第3位 飯豊上行政区B
- ◆第4位 湯沢行政区
- ◆第5位 飯豊上行政区D
- ◆第6位 浮金行政区A



吉野辺行政区Aの皆さん(準優勝)



小野山神行政区の皆さん(優勝)

## ふるさと小野町会 ふれあい通信

### 田舎の思い出

#### 先崎 助直

(吉野辺出身・埼玉県支部長)



私は、10人兄弟の8番目に生まれました。家は農家なので、小さいころから家の手伝いをさせられ、水くみ、風呂たき、タバコはさみなどいろいろ手伝いました。つらかったです。でも、手伝いの合間に、夏は近くの川で川遊びをして楽しかったです。

昭和35年に吉野辺をはなれ、愛知県に行つて、愛知用水工事に参加しました。その後、仕事の関係で各地を転々として、昭和40年に戸田市民になりました。

家の目の前には、菖蒲川という川がありました。名前とは大違いの汚い川にびっくりました。そして戸田の川

を考える会に入会し、清掃活動に参加するようになりました。夢は、夏井川のようにしたいと思いつつ、20年が過ぎました。少しずつですが、川もきれいになってきて、今ではくさい臭いも消え、魚が時々姿を見せるようになりました。初めて、ボラや鯉が泳ぐ姿を見た時、涙が出るくらいうれしかった事を覚えています。

私が、ふるさと小野町会に入会したきっかけは、田舎に遊びに行った時ふるさと小野町会の入会申込書を目にしたことです。実家の兄貴に入会を勧められ入会しました。現在は、埼玉支部長を務め、新年会や花見などを計画して実行しています。

参加者の人たちと話をして、いる時、皆が故郷を大切にしている気持ちは同じだと感じます。

田舎での18年間は、辛い時もありましたけど、今は私にとって大事な故郷です。故郷に帰るたびに、故郷の空気、故郷の風景はいつまでも変わらないでほしいと心より想います。